
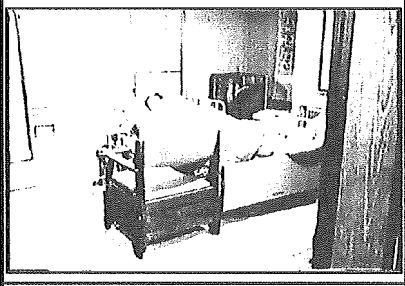

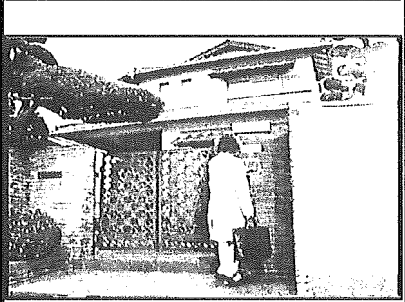
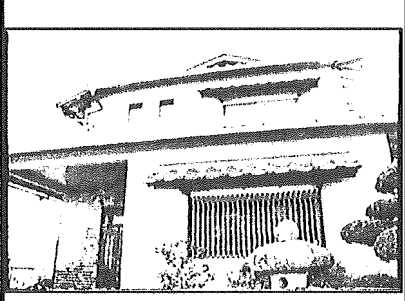
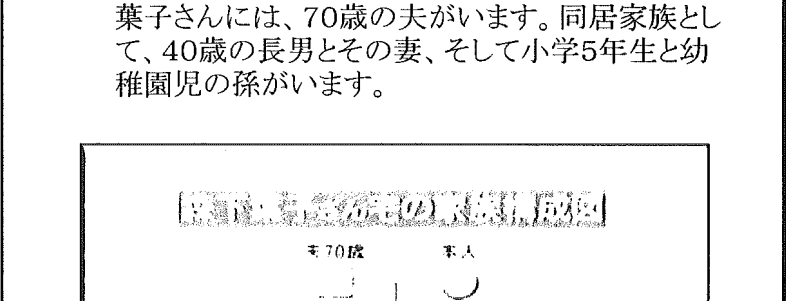
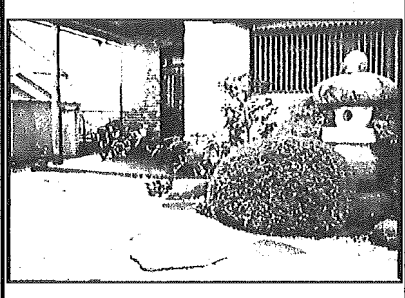
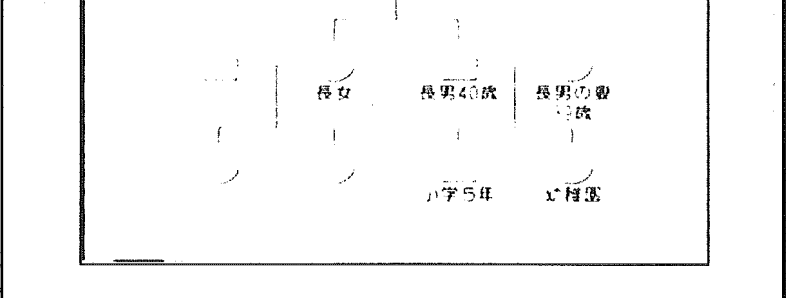
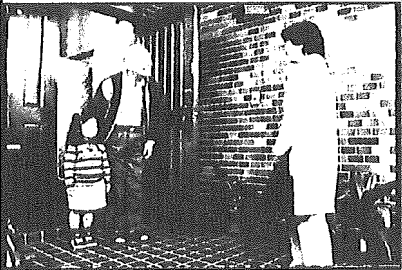
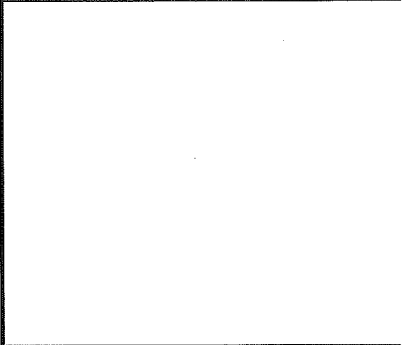
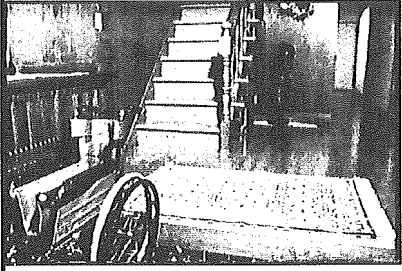
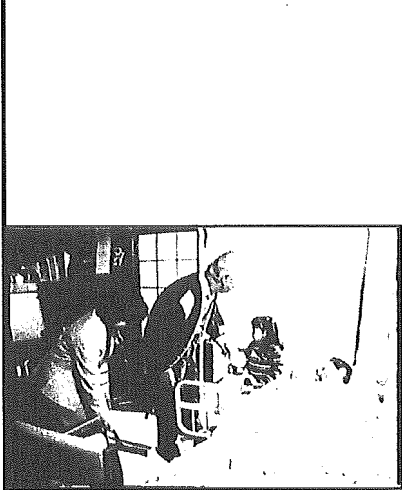
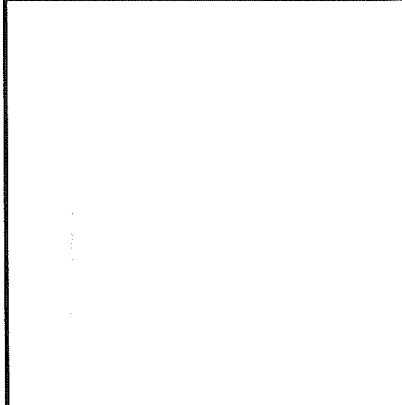

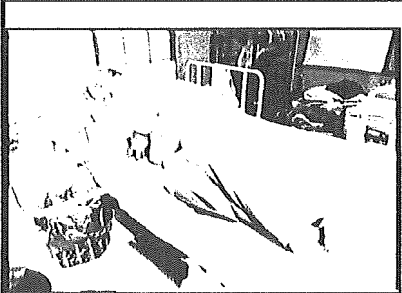
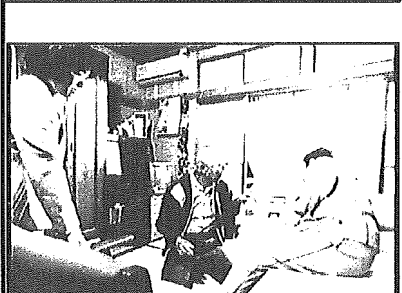

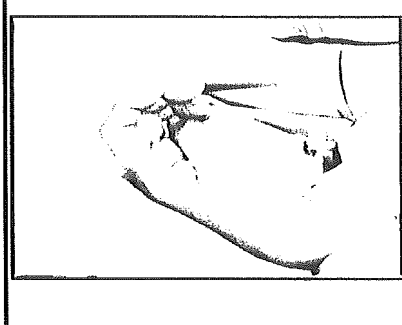



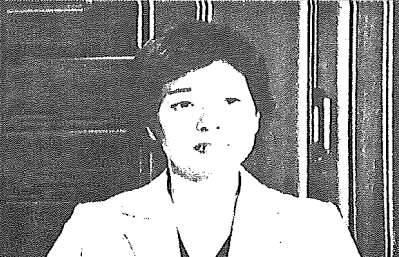

演習ビデオのポイント(居宅サービス計画の立案に向けた課最分析の実際)

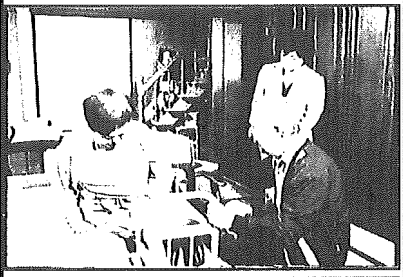


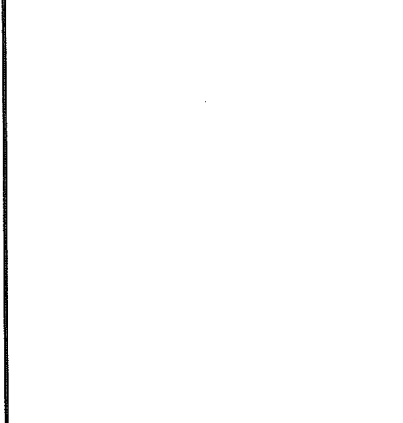
映像	ナレーションおよび台詞
 <p>森下葉子(68歳)さんの事例 介護度:要介護3</p>	<p>NA: 森下葉子さん68歳は、半年前に突然脳梗塞となり入院。保存的治療を受けましたが、左片マヒが残存、その後、回復期リハビリテーション病院に転院し、入院中に要介護認定を受け、要介護3と判定</p> <p>今日は、葉子さんが退院して自宅に戻ってから5日目です。</p>
 <p>ケアマネジャー 大石さん</p>	<p>NA: こちらは担当ケアマネジャーの大石さんです。</p> <p>今日は、今後、葉子さんが在宅での生活を続けていくために必要なことについて話し合うための退院後初めての訪問です。これからの生活をどのように支えていったら良いかを、ケアマネジャーの大石さんとともに、みなさんも考えてみて下さい。</p>
	<p>森下さんの家は築30年あまりの2階建ての日本家屋です。今までは1階を長男世帯が、2階を葉子さん夫婦が使っていましたが、本人の退院に伴い、急遽1階に電動ベッドを入れました。</p>
	<p>まず、森下家の家族構成を見てみましょう。葉子さんには、70歳の夫がいます。同居家族として、40歳の長男とその妻、そして小学5年生と幼稚園児の孫がいます。</p>
	 <p>森下家の家族構成図</p> <pre>         graph TD             A[本人 70歳] --- B[長女]             A --- C[長男 40歳]             A --- D[長男の妻 30歳]             C --- E[小学5年生]             C --- F[幼稚園児]             </pre>
	

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石:「ごめんください、ケアマネジャーの大石です。」</p> <p>ご主人:「どうぞ、お待ちしております。」</p> <p>大石:「先ほど、お電話では失礼いたしました。」</p>
	<p>ご主人:「いや、ちょっと孫の迎え時間があったもので…。」</p> <p>大石:「もうお済みですか…。」</p> <p>ご主人:「ええ、以前は家内がやってたんですよ…、(孫に向かって)挨拶なさい。」</p> <p>大石:「こんにちは。」</p> <p>孫:「こんにちは。」</p> <p>大石:「失礼します。」</p>
	<p>ご主人:「大石さん見えたよ…。」</p> <p>大石:「おじゃまします。」</p>
	<p>大石:「こんにちは…、大石です。」</p> <p>葉子:「お世話になりました。」</p> <p>大石:「いえ、今日はこれから、どんなふうにも暮らしのお手伝いをさせていただくか、奥様と一緒に考えて行きたいと思いますが、よろしいですか。よろしくお願いします…。」</p>
	<p>大石:「退院されていかがですか…、少しは生活は落ち着かれましたか？」</p>

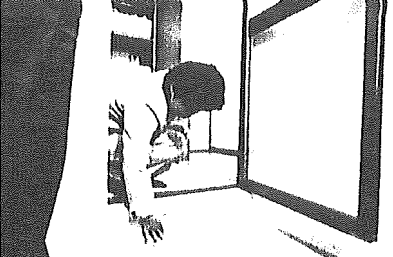
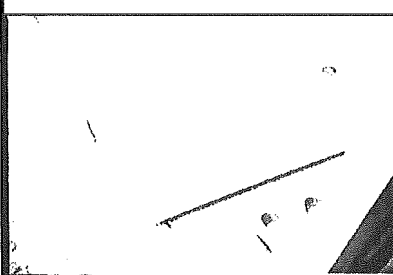
映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>葉子:「落ち着いたといいますか…、何もできなくて…。」</p> <p>大石:「お孫さんのことですか…?」</p> <p>葉子:「それもありますが、なにかするにしても主人に頼らなくちゃいけませんので…。」</p> <p>大石:「…。」</p> <p>葉子:「そしたら、こうやって、寝ている方がいいかと思っています…。」</p> <p>大石:「日中も、こうしてずっとベッドに横になっていらっしゃる事が多いんですか?」</p> <p>葉子:「ええ、食事や・トイレの時以外は…。」</p> <p>大石:「…?」</p> <p>葉子:「やはり、何かしようとする、主人に迷惑がかかりますので…、何にもしないで寝ていたほうが一番いいんじゃないかと思っています…。」</p> <p>大石:「病院では、ずいぶんリハビリをがんばってらっしゃったというふうに伺ってましたけど…。」</p> <p>葉子:「でも、やっぱり、家ではね、なかなかできなくて…。」</p> <p>大石:「まだ退院したばかりですものね…、まずは、できることからやってみましょう。それが大切だと思いますよ…。」</p> <p>葉子:「…。」</p>

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石:「ちょっと、起き上がってみましょうか？」</p> <p>葉子:「ええ…。」</p> <p>ご主人:「じゃ、いつもやっているようにやってみてごらん…。」</p>
	<p>大石:「お一人で上手に起きあがれましたね…。」</p> <p>葉子:「…。」</p> <p>大石:「日中は、どう過ごされることが多いんですか？」</p>
	<p>葉子:「ほとんどテレビを見たり…。たまには、孫に絵本を読んでやったり…。」</p> <p>大石:「他には…。」</p> <p>葉子:「いろいろやりたいんですけど…、ほとんど、主人がやってくれますので…。」</p>
	<p>大石:「そうですか…、お食事もここでなさるんですか？」</p> <p>葉子:「ええ…。」</p> <p>大石:「お支度はどなたが？」</p> <p>葉子:「朝は、嫁が…。後は主人が…。息子夫婦は夕食が遅いので、時間が合わないんですよ。」</p> <p>大石:「そうですか…。」</p>
	<p>葉子:「主人が、よくやってくれますので…。」</p> <p>大石:「良かったですね。」</p> <p>葉子:「ええつい、頼ってしまって…、でも一日も早く…元に戻りたくて…。」</p>

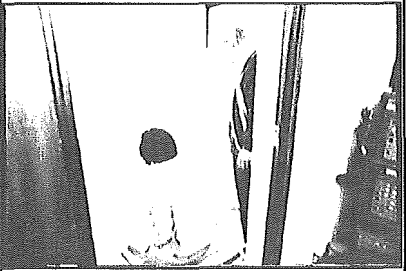

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石:「それはそうですよね。病院の先生からも聞きましたよ。森下さんは努力家ですって…。」</p> <p>葉子:「やはり、主婦ですから、できれば台所に立ちたいと…、やはり無理みたい…。」</p>
	<p>大石:「…、無理ですか…?」</p> <p>葉子:「ほんとはね、家に帰ると、孫やたちと息子たちと一緒に、食事ができるかしらと思ったんですけどね…。」</p>
	<p>大石:「そうですね…。」</p> <p>葉子:「できるようになるかしら…、みんなに迷惑が掛かると思って、つい考えちゃって…。」</p>
	<p>大石:「そんなことはないですよ…、こんなに長く座っていられますし、ここから食堂まで動くことができれば、みなさんと一緒にお食事できると思いますよ…。」</p> <p>葉子:「それがね…、歩いていこうとしたんですけど怖いです。転びそうで…。床も滑りそうだし、杖をついても転びそうで…。一度、主人にトイレまで連れて行ってもらったんですけど、一緒に転びそうになってしまって…。それ以来、ベッドから離れるのが怖くて…。」</p>
	<p>大石:「そうだったんですか…病院では杖で歩けたのに、お宅では難しいですか…?」</p>
	<p>ご主人:「ええ。それで、つついポータブルトイレを…。」</p> <p>葉子:「…本当はね、ポータブルトイレを使うのは、いやだったんですけど…。これ以上なにかあると、つい主人に迷惑が掛かると思って…。」</p>
	<p>ご主人:「迷惑だなんて。そんなことはないよ。」</p> <p>葉子:「…。」</p>

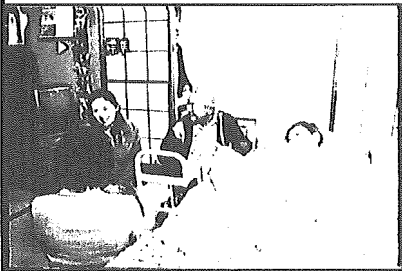



映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石:「恐れ入りますが、ちょっとポータブルトイレに移る様子を見せて頂けませんか？」</p> <p>葉子:「ええ・・・。」</p>
	<p>ご主人:「じや、いつもやっているようにやってみようか。」</p>
	
	
	<p>ご主人:「こうしてズボンを上げたり下げたりするんですよ。それが大変なんですよ・・・。」</p> <p>大石:「・・・。」</p> <p>葉子:「だから・・・なるべく迷惑は、かけたくないんですよ・・・。」</p>
	<p>ご主人:「迷惑なんかしてないよ・・・。でも、自分で行けるといいですよね・・・。」</p> <p>大石:「・・・。」</p>

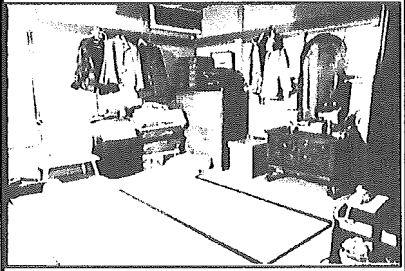

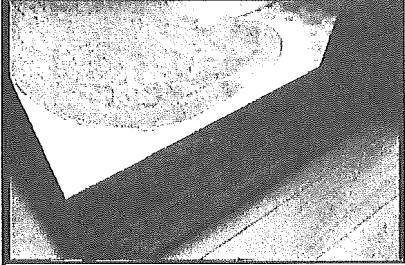
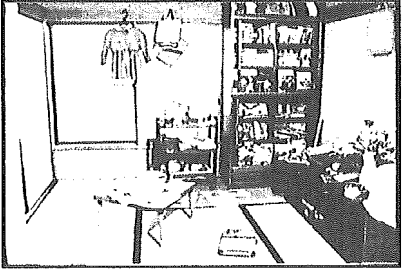

映 像	ナレーションおよび台詞
(図面参照)	<p>NA: ここで、この家の間取りを簡単に見てみましょう。画面左上にある玄関を入ると、すぐ右手に電動ベッドが置かれている和室があります。そのとなりに、居間、食堂、台所が続きます。居間の向かい側にトイレ、浴室、洗面所があります。2階は和室が二間並び、その右手に洋室があります。また、トイレ、洗面台もあります。倒れる前は階段を上った正面の和室を寝室として使っていました。</p>
	<p>大石: 「…、ちょっと、トイレを拝見させていただいてよろしいですか？」</p> <p>ご主人: 「どうぞ。」</p>
	<p>大石: 「一度、トイレまでご主人が介助されて行かれたといっておられましたか？」</p> <p>ご主人: 「二度ほどですよ…、家内を抱えてトイレへ行こうとしたんですけど、なかなかうまくいきませんでしてね。ずいぶん自分も体力が落ちたなと思いましたよ…。」</p>
	<p>大石: 「たとえば、転びそうになったとか…。」</p> <p>ご主人: 「そうなんです。トイレにたどり着くまで一苦労だったんです。手すりでもありや、もっと楽なんです、抱えていても、自分がまるで、倒れちゃうような…。」</p>
	<p>大石: 「危なかったですね。」</p> <p>ご主人: 「それに、さっきご覧頂いたように、やはりズボンの上げ下ろしもね、大変でね…。」</p>
	<p>大石: 「かがむのに、腰に負担がかかってしまいますものね…。」</p> <p>ご主人: 「これがトイレなんです…。狭いでしょう。やはりトイレは無理でしょうかね…。」</p>
	<p>大石: 「そうですね…、病院と同じようにはいきませんから、トイレの動作については一度、理学療法士の方に来て頂いて、どうしたら良いかを一緒に考えてみようと思うのですが、いかがでしょうか。」</p>

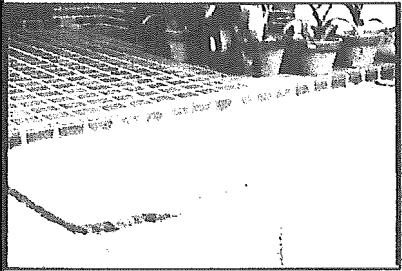





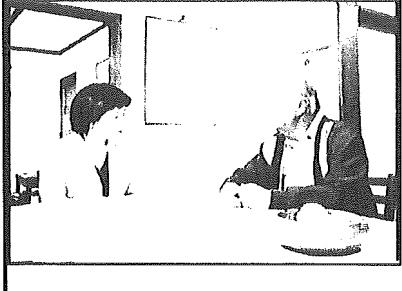
映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>ご主人: 「ええ、そうしていただければ・・・。」</p> <p>大石: 「ところで、入浴はどうされていますか・・・?」</p> <p>ご主人: 「・・・、はずかしいことなんだけど、退院してから、一度も入れていない。いや、入れるのが怖いんです・・・。」</p> <p>大石: 「そうなんですか・・・。」</p> <p>ご主人: 「一昨日、嫁と二人で入れようとしたんだが、危なくてね・・・。シャワーだけでかぜをひいてもいけないと思って、あまり無理をしませんでした。」</p> <p>大石: 「そうでしたか、毎日の洗顔はどうなさっていますか?」</p> <p>ご主人: 「それは、朝と夜、蒸しタオルでふいています。」</p> <p>大石: 「ベッドの、ところですか。」</p>
	<p>ご主人: 「ええ・・・。」</p> <p>大石: 「あの～、ちょっと浴室を拝見させていただいてよろしいですか?」</p>
	<p>ご主人: 「ええ、もちろん。」 「この浴槽なんですよ、困っているのが・・・。」</p> <p>大石: 「・・・。」</p> <p>ご主人: 「それに狭いし・・・。」</p>
	<p>大石: 「確かに、奥様の場合、杖や装具がないと立っているのも難しいですし、浴槽も介助がないとまたぐことも大変ですし・・・。病院でも入浴は介助を受けていたようですし、浴槽も腰かけてまたいでいたようですね・・・。」</p>

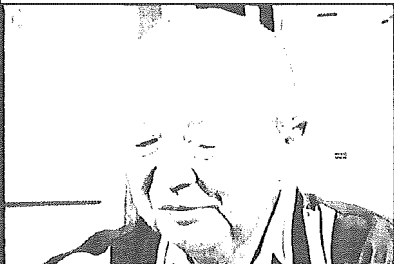






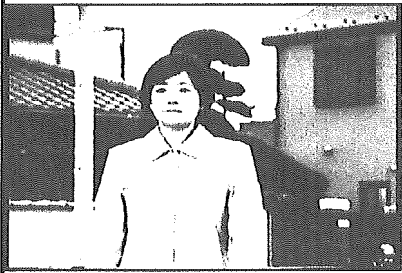
映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>ご主人: 「やはり、なんとか風呂には入れてあげたいと思いますね…。私らでも気分転換になるんですから、家内にとってはなおさらですね。」</p> <p>大石: 「そうですね。」 「あの今回の入院前は、2階にお住まいだと伺いましたが…。ちょっと2階も拝見させていただいてよろしいですか？」</p>
	<p>ご主人: 「あっ、嫁も帰ってくるので、それからでよければ…。」</p> <p>大石: 「お嫁さんのお仕事はどのような？」</p>
	<p>ご主人: 「役所へ勤めています。今日はあなたが見えるというのですぐ帰ってくると言っていましたので、もうすぐ帰るでしょう。以前は、孫の迎えや台所やその他の家事も、ほとんど家内がやっていたんです</p> <p>大石: 「そうでしたか…。」</p> <p>ご主人: 「倒れる前は、本当によく動いたんですよ。孫たちの子育ても手伝ってました。息子の帰りが遅いもんで。嫁も家内にずいぶん感謝してましたよ。」</p> <p>「たしか、一階での生活を勧められたのは、病院でしたよね…。」</p> <p>葉子: 「ええ…。主人も、息子も、そのほうがいいって言ってたんですけど、…。でもね…。」</p> <p>大石: 「何か、気になることでもありますか？」</p> <p>葉子: 「息子たちの帰宅が遅いでしょ…。それにここは玄関に近いから…。」</p> <p>大石: 「息子さんのお帰りは遅いんですか…。」</p> <p>葉子: 「ええ、ほとんど毎日、深夜になりますね…。私を気づかって静かにしてくれてはいるんですけど、夜会なんか食べてるみたいで…。どうしても、音がするから気になって…。」</p>

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石:「そうですか、音が気になると目が覚めてしまいますものね…。」</p> <p>葉子:「ええ。退院してからずっと眠りが浅くて…。2階は日当たりが良くて、落ち着けますから、もとのように2階で生活できたらいいと思います…。」</p> <p>ご主人:「そうだよな…。」 「おっ、帰ってきたようですよ、嫁が。」</p>
	<p>良子:「いらっしやいませ。」</p> <p>ご主人:「良子さん、ちょっとケアマネジャーの大石さん。」</p> <p>大石:「初めまして、大石です。」</p>
	<p>ご主人:「退院のときベッドなんかをお世話してくれた…。」</p> <p>良子:「お世話になっております。」</p> <p>大石:「いえ…。」</p>
	<p>ご主人:「良子さん。ちょっと2階を見たいそうなんだ…。」</p> <p>良子:「ええ、はい。ちょっと散らかっていますが…、それでよければ。」</p> <p>大石:「すいませんね。」</p>
	<p>良子:「こちらこそ…、どうぞ。」 「お義母さんが、あんなってから、お義父も本当に良くやってくれているんです。あたしは仕事が忙しくて何もして上げられなくて…。」</p>

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>良子:「倒れる前は、ここを寝室に使用していました。」</p>
	<p>良子:「2階のトイレはここになります…。ここは子供部屋です…。」</p>
	<div data-bbox="959 663 1362 931" data-label="Image">  </div> <p>(子供部屋)</p>
	<p>大石:「…ところで、良子さんとしては、これからお母様がどんなような生活をされることがお望みですか？」</p> <p>良子:「…、できれば、そうですね、元どおり2階での生活に戻れば良いと思っています…。でも、この階段がね…。」</p> <p>「退院ということで、急いで1階にペットを入れて上と下の生活を取り変えたでしょう。なんとなく生活のリズムが狂っちゃって…、ストレスがたまりそう。」</p>
	<p>大石:「ご主人はどんな仕事を？」</p>
	<p>良子:「商社員です。帰りが遅い仕事なので平日はあまりあてにならないんです。それに、私も子供たちの世話や、今は家族全員の洗濯や掃除、それに食事の支度などで精一杯になってしまっていて。なかなかお義母さんのお世話までは手が回らないんです…。それに今は、お義父さんが保育園のお迎えまでやっているでしょ。なんとなく肩身の狭い思いです。」</p> <p>大石:「確かに家族全員の家事と子育て、お仕事との両立は大変ですものね。」</p>

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>良子：「退院の時、先生に、週に二日はリハビリのために通院してくださいと言われたんですけど、家から病院まで義母を連れて行くのが大変なんです。まだ1回しか行ってないんですけど、夫は休みが取れなかったのが私に休暇を取って、市役所の車いすを借りて、お義父と二人で母を連れていったんですけど…、慣れてないせいか、もう大変で…。」</p>
	<p>大石：「玄関にあった車いすですね…。」</p> <p>良子：「それでもなんとか玄関の外まで出たんですけど、表の通りまでがまた一苦勞で…。」</p>
	<p>大石：「そうですね。確かに玄関前は車いすでは通りにくそうですね。そこで他にも、なにかお困りのことはありますか？」</p>
	<p>良子：「困るっていうか、これからのことを考えると…。お義母さんの介護は、お義父さんの肩にかかっているでしょ…。これでお義父さんが倒れたら…。と思うと、とても不安です。」</p>
	<p>大石：「確かに、お義父さんの負担が大きいですね…。」</p> <p>良子：「お義父さん、とても一生懸命で…。見ていてほんと大変だなと思うんです。そのことについて夫ともよく話し合わなくてはと思っているんですが、毎晩、深夜に疲れて帰ってくるのを見ると、なかなか話しをすることができなくて…。夫は、私が勤めを辞めるか、介護休暇を取ることを望んでいるのですが…。私、仕事を辞めるつもりはありませんし。これまで頑張ってきたんですもの…。」</p>
	<p>大石：「そうですね…。」</p>
	<p>大石：「良子さんも、かなりご主人のことを心配していました…。」</p> <p>ご主人：「そうですか…。」</p>

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石：「ところで、ご主人は奥様のことを含めて、これからご家庭で、どのように生活されたいとお望みですか？」</p> <p>ご主人：「少しずつでも、良くなってほしいとは思っているんですけど、あまり高望みはしていません。私も家内もう歳ですから・・・。」</p>
	<p>大石：「いえいえ、まだお若いですよ・・・。」 「奥様が退院なさってまだ間もないので、慣れないこともいろいろあって大変でしょうけれど・・・。少しずつご主人もご自分の時間をもてるようになると良いですね。」</p> <p>ご主人：「そうはいつでも、日中、家内一人残して出かけるのは、何かあった時のことを考えると・・・、家内が病院に入っている時のほうが気が楽でした。」</p> <p>大石：「私たちは、奥さんのことはもちろんですが、ご主人様にもそうですが、ご家族の方にもいい状態で生活していただけるよう、精一杯応援させて頂こうと思っているんですよ。」</p> <p>ご主人：「・・・。」</p>
	<p>大石：「失礼いたします、おじやまいたしました。お宅に帰られていろいろ不具合なことがおありでしょうけど、一つ一つ解決していきましょうね。奥さんは右手も自由に動きますし、今は調理器具も便利なのもいろいろ出てますから、工夫すればいつかきっとお料理が出来るようになりますよ。やってみましょう。」</p>
	<p>葉子：「ほんとに、できるようになるかしら・・・。」</p> <p>孫：「おばあちやんの料理、おいしかったものね。」</p>
	<p>葉子：「うれしい・・・。」</p> <p>大石：「やってみようという奥様の気持ちが一番大切なんですよ。」</p> <p>葉子：「・・・。」</p>

映 像	ナレーションおよび台詞
	<p>大石：「トイレに行くことやお風呂にも入れることも夢じゃないですよ…、希望をもちましょう。」</p> <p>葉子：「…。」</p>
	<p>NA：「ケアマネジャーの大石さんの訪問を通して、退院5日目の森下葉子さんの生活の様子を見ていただきました。これからの生活をどのように支えていったら良いかを、皆さんで考えてみて下さい。」</p> <div data-bbox="683 696 1305 1106" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">企 画</p> <p><b>ケアマネジャー向け住宅改修の研修プログラムの開発に関する研究会</b></p> <p><b>幹 事</b> 国立長崎大学健康福祉学術センター長 藤田 隆</p> <p><b>協 賛 者</b> 東京国立保健科学大学助教授 藤田 隆</p> <p><b>金 沢 美 智</b> 弘前大学助教授</p> <p><b>藤 田 隆 子</b> 東京大学大学院工学系研究科准教授</p> <p><b>中 村 一 郎</b> 国立長崎大学助教授</p> </div>

生活動作能力評価に基づく問題点抽出用ワークシート

	したいこと (要望)	していること (現状)	できること・できないこと (能力)	問題点		
				身体的要因	心理的要因	環境要因
			[できないこと]			
			[できないこと]			
			[判断できないこと] (わからないこと)			

排泄 ・ 入浴 ・ 外出

# 問題点と生活課題（ニーズ）

第2巻 資料E

	問題点	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）
排 泄		
入 浴		
外 出		
食 事		



(排泄・入浴・外出・食事)

氏名 \_\_\_\_\_

No.	ニーズ	援助目標			
		長期	期間	短期	期間

(排泄・入浴・外出・食事)

氏名 \_\_\_\_\_

援助内容	
No.	環境整備以外サービス内容
	環境整備

(排泄・入浴・外出・食事)

氏名 \_\_\_\_\_

援助内容

No.	サービス種別	頻度	期間

第2巻 資料G

居宅サービス計画書(1)

初回・紹介・継続

認定済・申請中

利用者氏名 森下 葉子 殿 生年月日 (明治・大正・昭和) 〇 年 〇 月 〇 日 住所 (市町村名) B 市  
 居宅サービス計画作成者氏名 大石  
 居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地 □□居宅介護支援センター ××県××市××町××番地  
 居宅サービス計画作成(変更)日 平成 年 月 日 初回居宅サービス計画作成日 平成 年 月 日  
 認定日 平成 年 月 日 認定の有効期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

要介護状態区分 要支援 ・ 要介護1 ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5

利用者及び家族の生活に対する意向

介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定 意見及びサービス種類の指定は特になし

総合的な援助の方針 緊急時の対応方法 (関係機関、連絡先):

- 生活援助中心型の算定理由
- 1 一人暮らし
  - 2 家族等が障害、疾病等
  - 3 その他 ( )